

# 令和3年経済建設常任委員会概要記録

(会期中)

○会議日時 令和3年3月18日(木) 午前9時36分～午前9時51分

○場所 議会特別会議室

委員の出欠状況 (出席=○ 欠席=×)					
職	出欠	氏名	職	出欠	氏名
委員長	○	岡本鉄男	副委員長	○	中村節子
委員	○	石川信夫	委員	○	相澤康男
〃	○	奥田勉	〃	○	秋山幸男
			出席 6人	欠席 0人	

説明のために出席した者			
職	氏名	職	氏名
建設水道部長	瀧澤卓倫	水道課長	神戸良和

事務局			
職	氏名	職	氏名
議会事務局長	谷田貝明夫	議事課長	上野和芳

○議員傍聴者 なし

○一般傍聴者 なし

## 1. 開会

2. あいさつ 岡本鉄男 委員長

3. 概要録署名委員 秋山幸男 委員

## 4. 事件

(1) 付託事件の再審査について

議案第6号 令和2年度下野市水道事業会計補正予算(第2号)

●水道課長から議案について補足説明

《質疑・意見》

- 秋山委員：再発防止策として、システムの改善について説明があったが、どのような改善を行うのか。また、複数人での確認について、これまでは行っていなかったのか。今年、会計課から発送された源泉徴収票に誤りがあり、議員報酬についても全く異なる数字が記載されていた。こういったことが各課に渡り起きるということは、システムは異なるものを使っているわけなので、気の緩みがあると言われても仕方ないと思う。あつてはならない誤りなので気を付けてやっていただきたい。念には念を入れるような体制で取り組んでほしい。
- 建設水道部長：システムを活用するといったことも一つにはあるが、最終的には人の目でしっかり確認していくということに尽きると思うので、十分気を付けながらやっていきたい。
- 秋山委員：どういった状況で判明したのか。確認をするという作業が行われていれば発見されるということもあるが、我々も気が付かなかったということは予算書を安易に見ていたということにもなるので、我々の責任も大きい。100%間違いはないという前提で見ているので、特別に去年と違うというようなことがあれば気が付くが、そういったことがなければなかなか気が付かないところがある。
- 建設水道部長：誤りについては、議会事務局で議案の整理を行う中で気が付いたものである。補正する部分には気をまわしていたが、他の部分に目が届かなかった。また、補正予算と当初予算があり、当初予算に重きを置いていた部分がある。
- 秋山委員：資料などを作った当人は、頭に入っているので見直しても気が付かないところがあるので、グループ内で携わっていない人など第三者が確認するとかしないとチェック機能が働かないのではないかと進言したことがある。全く異なった目線から見ると気が付くことがあるのでチェック体制も考えてほしい。
- 建設水道部長：水道と下水道会計については、ともに企業会計で予算書の作りが同じである。水道と下水道が相互に確認するといったチェック体制も考えていきたい。

採決の結果、全員賛成により可決すべきものと決す。

## 5. その他 なし

閉 会